

## 具体的な色彩の方向性

これまでの犀川大橋景観のあり方をはじめ、色の三属性に関する絞り込みから、本頁に示す4案を事務局案として提案致します。

### 【第1候補】：青色グラデーション（これからもずっと）

**コンセプト**：金沢を代表する伝統工芸の1つである加賀友禅の技法を用い「犀川のの流れ～空」へと繋がる青色グラデーションを配色する案。ようやく市民に定着しつつある色彩・コンセプトは今後も変えない。  
**要 点**：文化財登録に伴い、今後もこの色彩とする。アクセントは特に用いない。



### 【第2候補】：緑系（森の都：金沢の象徴）

**コンセプト**：加賀百万石の城下町：金沢は兼六園など緑の豊かさが街のシンボル。中心市街地の玄関口に位置する本橋は森の都を象徴する「緑系」でシンボリックに表現する。  
**要 点**：アクセントに金箔を使用、次々回も市民と共に再検討



参考候補色：N993 水縹・みずはなだ（マンセル値 9.6G 7.6 / 1.2）

### 【第3候補】：青系（犀川と橋の2大シンボルが主役となる景観形成）

**コンセプト**：「男川：犀川」と「犀川大橋」が主役となるよう「青系」で統一する。金沢らしさの表現として橋名盤に金箔を用い、伝統工芸技法を近視点から際立たせ、観光客を喜ばせる。  
**要 点**：近視点で金沢らしさの表現。川と橋が主役の景観。今後も基本的に変えない。



参考候補色：N949 深川鼠・ふかがわねず（マンセル値 0.7PB 6.4 / 1.5）

### 【第4候補】：紫系（文化芸能に秀でた優雅さを演出）

**コンセプト**：川や空に代表される青系の環境要素との調和にも配慮しながら、「文化工芸の都：金沢」を華やかに彩るイメージとする。「お色直し」の効果も高く今後も十数年に一度の「お色直し」を橋と市民と共に楽しんでいく。  
**要 点**：次回塗り替え時には、新たな色彩とする。アクセントは特に用いない。



参考候補色：N999 薄色・うすいろ（マンセル値 1.1RP6.6/ 2）